

町田市小山町への20年間期間限定認可保育園 建設計画に関する請願

<請願主旨>

現在の市内待機児童数増加と言う社会情勢は極めて重要な問題であり、その解消策の1つである「20年間期間限定認可保育所」制度は、市民として大変意義のある取り組みと理解いたしております。

現在、小山町4604-2土地所有者より120人規模の保育園建設計画が進行していることが、7月30日に「建築計画のお知らせ」の立て看板設置を以って、突然、近隣住民に知らされました。今年から本制度をスタートさせた市は、近隣住民に対して理解・納得のいく説明をすべきにも関わらず、該当地を候補地として正式決定した5月25日以降、約2ヶ月間、その説明責任を全く果たしていません。その後も市から十分な説明はなされず現在まで至っており、近隣住民は、向こう20年間継続する以下の不安を抱きながら毎日を過ごしています。

(1) 交通安全に関わる不安

該当地の北側の道路は見通しの悪い急カーブの坂道で歩道がありません。また、西側の道路は道幅が狭い坂道で歩道もなく、自動車と歩行者との擦れ違いさえも困難です。この道路は小山ヶ丘小学校及び堺中学校の通学路であり、近隣住民は交通安全に十分に注意を払い自動車・自転車(以下、自動車と称す)を運転しています。また、冬季降雪後には日陰では降った雪が凍結するために、近隣住民は自動車の使用を控えます。しかし最近では、近隣住民以外にも多摩境通りと町田街道を繋ぐ道路として利用され、自動車単独の物損事故も多く、予定地前でも発生しています。

このような道路に接した該当地に120人規模の保育園が開園されることで、朝晩の送迎時に自動車に乗る保護者と園児、保育園への資材運搬用自動車に乗る運転手、生活道路として使用する近隣住民は交通事故の被害者にも加害者にも成り得る危険があり、更なる危険の増加に対して近隣住民は不安を抱いています。

(2) 生活環境の変化に関わる不安

該当地周辺は自然豊かで閑静な場所であり、多くの近隣住民がその環境を永住の地と選んだ住宅地が隣接しています。

このような土地に120人規模の保育園が開園されると、近隣住民は、どのような生活リズムの変化が生じるのか、園児保護者とのトラブルが起こるのではないかと、どのように保育園と関わるのか、など不安を抱いています。

以上のように、7月30日から、近隣住民の誰もがこのような不安を抱きながら毎日を過ごしています。繰り返しになりますが、その根本には、市が該当地を候補地として正式決定した5月25日以降、近隣住民に対して、未だに該当地が選定された経緯、根拠について理解・納得のいく説明が一切されず、建築計画だけは進行していることが起因しています。

近隣住民が安全に安心して過ごせる住環境の維持、園児の安全性確保、保護者が安全で安心して信頼できる保育施設に相応しい環境整備、を実現させるために下記をお願いいたします。

< 請願項目 >

現在進められている該当地への保育園の建設計画について、市が責任を持って近隣住民の理解・納得が得られるまで、建設に必要な全ての手続き、作業は進めないようにお願いします。